

令和3年度飯田市新型コロナウイルス感染症対策事業について

1 総括

(1) 新型コロナウイルス感染症陽性者数の推移について

- 長野県内（長野市、松本市含む）では、令和3年度（令和3年4月2日～令和4年4月1日公表分）に、41,752人の陽性者が公表されており、うち109人が死亡しています。
- 長野県内の陽性者数の波は、令和3年3月末から同年6月下旬までの第4波、令和3年7月下旬から令和3年10月初旬にかけての第5波、令和4年1月初旬からいまに至る第6波となっています。
- 飯田保健所管内においては、第4波（令和3年4月2日以降公表分）で35人、第5波では142人、第6波（令和4年4月1日以前公表分）では1,825人の陽性者が公表されています。このうち飯田市単独では、第4波（同上）25人、第5波94人、第6波（同上）1,166人の陽性者が公表されています。月別の陽性者数は、第4波では令和3年5月に20人、第5波では同年8月に81人と最多となりましたが、波が収束した6月、11月、12月には陽性者は確認されていません。令和4年に入ると1月に510人、2月に246人、3月に418人と急増しています。また、日別では、令和4年1月12日の41人が最も多く、次いで、同年3月31日に38人、同年1月13日に37人となっており、30人を超える日はいずれも令和4年1月以降で8日あり、感染力の強いオミクロン株による第6波の影響を大きく受けています。

(2) 新型コロナウイルス感染症対策について

- まん延防止等重点措置等の発令状況
 - ・ 当圏域の感染警戒レベルは、第4波後半の5月21日から6月3日までの間に、全県で「感染警戒レベル4」が発出されたのみでしたが、第5波が到来した8月19日に、当市としては令和3年1月の第3波以来となる「感染警戒レベル5」が発出され、翌日には全県に医療非常事態宣言が発出されました。8月22日には、飲食店等に営業時間の短縮要請がされ、更に9月2日には要請の延長がなされ、時短要請が解除されたのは9月8日でした。
 - ・ 令和4年1月からの第6波では、1月9日に「感染警戒レベル5」が発出され警戒を強めたものの、感染力が強いオミクロン株による感染拡大が収まらず、1月27日には、長野県全域に国の「まん延防止等重点措置（感染警戒レベル6）」が適用され、3月6日まで継続されました。
 - ・ 長野県が発出する感染警戒レベルや医療警報の引き上げ基準については、令和4年5月23日に基準の緩和が行われましたが、今後も、その動向を注視していく必要があります。
- 新型コロナウイルス感染症対策
 - ・ 基本方針

市民の命と暮らしを守ることと地域社会経済の再興を車の両輪として捉え、時々の実情を勘案し、地域住民の生活に寄り添ったきめ細やかな施策を意識し、生活支援及び経済対策の機を逸することなく実施することを基本方針とし、市民の皆さんや市議会の皆さんとの対話を重ねつつ、迅速性を重視した対策に努めてきました。
 - ・ ワクチン接種

初回接種については、医療関係者に続き、令和3年4月からは高齢者等の重症化リスクが高い方、同年7月からは順次各年齢層へ接種を開始しました。3回目のワクチン接種は同年12月から接種をスタートさせ、令和4年3月からは小児接種も開始しました。あわせて、迅速かつ円滑な接種に向け、医療機関のほか、集団接種会場を設置するなど接種体制を整えました。

現在は、小児接種を除き市内医療機関での接種を一旦終了し、集団接種会場に集約しています。また、4回目の追加接種を開始しています（6月14日から集団接種会場にて接種開始）。

・感染拡大防止

令和2年度に設置した医療・経済・人権の関係者により構成された飯田市新型コロナウイルス感染症専門家会議において専門家のご意見をお伺いしながら、新型コロナウイルス感染症対策本部会議において協議・検討し、感染拡大防止対策を進めてきました。

感染拡大防止のための情報発信や基本的な行動に関する広報啓発については、広報いいだ、ポスター掲示、新聞や雑誌といったメディアに加え、YouTubeを活用した市長による市民の皆さん向けの注意喚起動画の配信やスポット広告など、広く市民の皆さんに向けた情報提供に努めました。

感染拡大防止対策の要となる抗原定性簡易検査キットの配布事業は、6月21日からの1か月間、水際対策としての有効性を図るための社会実験として実施しました。この結果を踏まえ、第5波の際には、夏休み中の移動による当地域へのウイルスの持ち込みを防ぐ水際対策として実施しました。また、第6波以降では、地域外からの持ち込みに対する水際対策に加え、福祉施設の利用者や職員の利用、各種イベントの開催時の検査、また、飲食店の利用時の検査など地域内での感染拡大防止策としても広く活用されるなど、感染症対策と地域社会経済の活性化の両立に寄与しています。

・緊急対策事業

新型コロナウイルス感染症緊急対策事業については、第8弾から第12弾まで、その時々への感染状況に加え、地域経済の状況等を捉えつつ、市議会の皆さんのご理解、飯田商工会議所をはじめとする経済団体等の皆さんのご協力をいただきながら実施してきました。

また、医療関係者の皆さんにご協力をいただき医療体制の維持・充実強化に取り組んできました。

◇飯田市新型コロナウイルス感染症緊急対策事業の概要

弾数	時期	地域の状況	対応概要
第8弾	令和3年5月	令和3年3月末からの第4波により、5月に感染者が増加しものの、同年6月中旬から7月中旬までは、陽性者の発表がない状況が続いた。	これまで実施を控えてきた地域活動の再開を支援し、感染症対策と地域経済活性化の両立に向けた取組を強化 <主な事業> ・観光まつり振興の支援 ・観光キャンペーン ・宴会場利用地域交流応援割引 ・成人式抗原検査助成
第9弾	令和3年6月	従前株（アルファ株）から、感染力が強く重症化しやすい変異株（デルタ株）への置き換わりが急速に進み、当地域においても、感染拡大することを懸念	簡易検査キットを活用した水際対策の強化や、感染症の長期化による影響を大きく受ける子育て世帯への生活支援等を実施 <主な事業> ・簡易検査キットを用いた感染予防対策 ・子育て世帯生活支援特別給付金等給付 ・スクールサポートスタッフ設置
第10弾	令和3年9月	令和3年7月初旬から同年10月初旬にかけての第5波により感染者が増加 8月中旬に感染警戒レベル5が、下旬には飲食店等への営業時間の短縮要請が発出	簡易検査キットを活用したより一層の水際対策の強化や、地域内消費喚起による事業者支援等を実施 <主な事業> ・簡易検査キットを用いた予防対策強化 ・啓発広告 ・お買い物商品券発行 ・観光関連事業継続応援金事業 ・成人式中止に伴う衣装のキャンセル料等補助

◇飯田市新型コロナウイルス感染症緊急対策事業の概要（つづき）

弾 数	時 期	地域の状況	対応概要
第11弾	令和4年11月	第5波が収束し感染者数は減少したものの、地域経済への影響は大きく、これまで以上に、感染症対策と地域経済活性化の両立に向けた取組の強化が求められた。	飲食店関連事業者や公共交通機関等の事業者を支援するとともに、簡易検査キットの信州の安心なお店への配布等の感染症対策と地域経済活性化の両立に向けた取組を強化 <主な事業> ・簡易検査キットを用いた予防対策強化 ・バス・タクシー事業者への支援金支給 ・飲食店関連事業者支援金交付 ・飯田もっと安心なお店補助金交付 ・信州の安心なお店向け抗原検査簡易キット配布 ・お買いもの商品券給付事業費
第12弾	令和4年2月	変異株（オミクロン株）の急速な拡大により、第6波が到来。長野県にまん延防止等重点措置が適応されるなど、これまでに経験のない感染拡大となった。	住民税非課税世帯、子育て世帯等への生活支援を実施、あわせて、飲食店をはじめとする第6波により大きな影響を受けた事業者への支援を実施 <主な事業> ・簡易検査キットを用いた予防対策強化 ・自宅療養者や濃厚接触者への買い物支援 ・住民税非課税世帯等に対する給付金給付 ・子育て世帯への臨時特別給付金等の支給 ・第6波対応事業者支援交付金給付 ・事前検査で安心な会食応援

(3) 振り返りと今後の方針について

- 令和3年度の振り返り
 - ・ 医療関係者のご協力により進めてきた体制強化により、ワクチン接種は順調に実施されています。また、水際対策に留まらず、福祉施設や飲食店等への定性簡易検査キットの無料配布や各種イベント時の検査キット活用により、早期発見・早期対処を可能とするなど、一貫した感染予防対策の強化により、最悪の事態として想定した医療崩壊には至らないレベルに感染拡大を抑えることができています。
 - ・ 個人への支援として、国の給付金等を確実に給付することに加え、市独自でも支援金を給付するなどの生活支援を実施しました。
 - ・ コロナ禍で大きな影響を受けた飲食店や宿泊事業者及びその関係事業者を中心に、その時々感染状況や地域経済の状況等を捉えつつ、飯田商工会議所をはじめとする経済団体等の皆さんのご協力をいただきながら経済対策を実施しました。経済団体等からは、新型コロナウイルス感染症の地域経済対策として効果があったとする評価をいただいています。
 - ・ ワクチン接種と検査キット無料配布を2本柱とする感染予防対策と、個人への支援と事業者への支援を2本柱とする経済対策を実施し、感染症対策と地域社会経済活動の活性化の両立、市民の生命と生活を守ることに寄与しています。
 - ・ 令和3年度成人式は、専門家の指導の下、参加者全員の事前検査を行い、式での感染が心配ないことを確認した状況で、市内16の会場において開催しました。また、3月末には、7年に一度開催される「飯田お練りまつり」が実施され、多くの市民が出演・観覧し、地域全体に活力を与えてくれる催しとなりました。様々な感染対策を講じた上で実施したものの、一部で陽性者が確認されるなどの課題や改善点などがありました。これらの取組から、以降に開催を予定するイベントにおいて生かすことができる知見を得ることができました。
- 令和4年度の取組方針
 - ・ 新型コロナウイルス感染症の感染状況や原油価格・物価高騰等の状況を見定めつつコロナ禍を理由として様々なことが中止・延期されることが常態化した社会から、この環境下でもできることを工夫して行う「with コロナ」の社会へとモードチェ

ンジを進め、社会経済活動の再興を確かなものとしていきます。

- ・新型コロナウイルス感染症が克服されたわけではない状況下では、市民の命と生活を守ることを根底に据えた対策を継続的に実施するため、これまでの取組の中で充実を図ってきた検査体制・医療体制を維持し、3回目のワクチン接種の確実な実施と4回目の追加接種のための体制整備、また、簡易検査キットの無料配布を継続します。
- ・また、コロナ禍で停滞している各種地域行事、集会、お祭りなどの地域の活力を生み出す市民活動の再興を支援します。
- ・さらに、コロナ禍において経済が縮小する中、国際情勢等に起因する原油価格・物価高騰に直面している現状に鑑み、足下では、地方創生臨時交付金を活用しながら直面する原油価格・物価高騰への対応を進めます。さらに中長期的には、国や県の施策を見極めつつ、経済的に厳しい環境に置かれた市民の皆さんや影響を受ける業種の事業者の皆さんに寄り添った対策を講じ、地域内外から稼いだ所得を地域内で循環させる「地域経済循環」の視点を取り入れた仕組みづくりを進めていきます。
- ・「コロナ禍だからできない」から「どうすればできるのか」へのモードチェンジを積極的に進めていきます。

2 事業実績

(1) 概要

	事業数 (事業)	決算見込額 (千円)
①感染予防対策	16	795,694
②事業者等への支援	24	704,729
③個人への支援	16	2,531,315
④地域活動等への支援	3	61,877
⑤教育支援	5	51,422
合計	64	4,145,037

(2) 事業別実績

- 別紙「事業別実績一覧」をご参照ください。